

■フィリピン：ルソン系統、複数の火力の計画外停止で需給逼迫のおそれ

フィリピン送電会社（NGCP）は 2019 年 4 月 1 日、ルソン島の電力系統において、今後、当分の間は需給が厳しくなるという見通しから、事業者に向けて「イエローアラート」を発した。フィリピンでは供給予備力を確保するため、一次調整力（緊急予備力）または二次調整力（運転予備力）が不足した場合には「イエローアラート」を、さらに三次調整力（待機予備力）がゼロとなった場合や供給力が需要を満たせない状態に陥った場合には「レッドアラート」を、NGCP が系統利用者に通知することが義務付けられている。今回の予備力不足は Masinloc 石炭火力発電所 2 号機（34 万 kW）や Pagbilao 石炭火力発電所 1 号機（38 万 kW）等の計画外停止によるものであるとされている。ただし、4 月 1 日を例にとると、ルソン系統全体における最大電力が 1,018 万 kW であったのに対し、利用可能な発電容量は 1,156 万 kW に達しており、今回はあくまで注意喚起であり、停電や電圧低下につながるものではないとしている。